

中田かわら版 8 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■シリーズ「地球温暖化問題」<4>

プラスチックごみ削減は世界の急務

身近な「3R」から励行

海は廃プラ被害で深刻な問題になっている。その象徴的な映像が 1981 年、中米コスタリカで海ガメの鼻にストローが詰まって、これを抜いて救出した動画が評判になった。同じ年の 8 月、鎌倉の海岸で体長約 10 メートルのクジラの赤ん坊が死体で打ち上げられた。解剖したところ胃の中から直径 7 センチほどのプラスチック片が見つかった。国内外のマスメディアが取り上げていた。

近年、クジラやイルカの内臓からプラスチック片が発見されており、死の原因と考えられている。こうした海で生活する哺乳類（＝海獣）が何らかの理由で海岸に打ち上げられる現象を「ストランディング」（座礁）と呼ばれているが、世界で年間 300 件ぐらい報告されている。

この厄介なプラスチックは分解しにくい性質があり海に入ると長期間漂い「海洋プラスチック」になる。これを海の生物が飲み込む内臓などに傷をつけるだけではなくプラスチック片に吸着した残留性有機汚染物質（POPs）が体内に蓄積されていく。POPs が体内に高濃度にたまると免疫力が低下し感染症にかかりやすくなる。寄生虫による肺炎や肝炎、発がんや内分泌機能の異常につながる可能性も考えられている。また、胃の中を調べると、海洋プラスチックを飲み込んだ胃の中が、ほとんど空っぽというのは POPs と関連があるのか。こうしたプラスチックごみが世界全体で年間、数万トンが陸から海へ流出しているのだ。

今年の 4 月 1 日から「プラスチック資源循環促進法」が施行された。使い捨てのプラの削減が目的であるが、まずは大量に使う事業所に使用量の削減を義務づける。例えば飲食店や宿泊施設などが対象だが、すでに取り組んでいるところも多い。フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー、ストローなどが木製や紙に代わった。ホテルではヘアブラシ、くし、歯ブラシなど余計なものとして置かなくなった。日常生活の中で多少の不便さはあっても、消費者としてもわきまを、協力していくことが重要であり義務と言ってもいい。身近なところから「3R」を励行するのもよい。Reduce（リデュース）ごみを減らす。Reuse（リユース）繰り返し使う。Recycle（リサイクル）分別して再利用など。世界はプラスチックごみ問題と地球温暖化による異常気象は待ったなしの事態にある。

（宮田 貞夫）

※カット写真は昨年、「子供と地球を守ろうプロジェクト中田」が主催して募集した環境ポスターで「優秀賞」になった作品。
作者；奥津沙羅さん（中田小学校 4 年生当時）



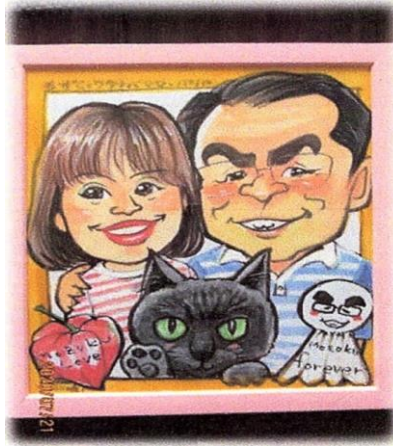
～一人ひとりが CO2 を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

■踊場猫伝説シリーズ<9>

黒猫モズクとの縁

渡邊 勉 戸塚区

私は、現在ボランティアで保護猫活動をしています。野良猫を地域で10人位が面倒見て愛情を与えて育てる事です。毎日誰かが餌をあげて健康状態など情報交換して猫を見守る『地域猫保護』の活動です。それと不幸な猫の数を増やさないように去勢手術をします。その猫は耳がV字カットされて見るとすぐ分かるようにしています。2014年に戸塚に来て阿久和川の土手で出会った猫は不思議な縁を感じました“黒猫のモズク”と言う名前でもクロとかタンゴとも言われていました。



私の悲しみのペットロスは1年間続きました。でも不思議な事が起こり全てが好転して行くようになりました。私は趣味で腹話術をしていましたが2020年2月にインストラクターを取得し、地域の健康をテーマに『腹話術普及活動』をして来ました。

小柄な子でしたが気が強く誰にも負けない根性のある猫でした。しかし人間には優しく接して愛情をたくさんもらいました。2018年1月22日は朝から大雪が降りこの日から私たち夫婦の家猫になりました。猫が1匹いることで幸せな毎日をプレゼントしてもらい1年半が経過しました。急に食べなくなり動物病院で診察したら『白血病』の診断で驚きました。インターフェロンなど出来る限りの治療はしましたが2019年10月16日に亡くなりました。その晩は地域ボランティアさんが10人位集まり、阿久和川の藤棚のある公園のベンチでお通夜をしてみんなで見送りました。翌日、戸塚斎場で火葬されお骨になりましたが、

コロナウィルスが蔓延して世界中がマスクをして人との交流が出来ない状況でしたがコロナ禍の中でも腹話術は好評で要請があれば出向きました。2021年FM戸塚からも取材がありその中で話した『地域に残る伝説を腹話術で演じる』を实践して見ようと“踊場の猫伝説”を台本にまとめました。踊場地域ケアプラザに出向いて嶋さんと宮田さんにお会いしてお陰様で実現する事が出来ました。これも黒猫モズクが、踊場の猫伝説の主演『黒猫のトラ』に繋がっているような必然な縁を感じています。これを機会に世の中に知って頂き、猫の良い縁で“猫みれの幸せ”を伝えて行こうと思っております。フランスでは2024年からペットショップの猫犬の販売は全面禁止されます。ただ、子供の頃の可愛いだけでは動物を飼う事は出来ません。もういないからと捨ててしまう人、ただ虐待対象に飼う人、もう一度、人間が猫の幸せとは何かを考えて行きましょう。

編集後記

酷暑ゆえ外に出るなとテレビが言う。エアコンを適切に使いましょともテレビが言う。電力不足だから節電をと電力会社が言う。そして電気料金を上げた。ロシアがウクライナへ軍事侵攻する。降伏するなら作戦停止するとロシアが言う。コロナ禍はまだ終わっていない。そんな不条理感満載の中、エンジェルスは負け越しているけど大谷翔平選手は結果を出しながら着実にスキルアップを続けている。ちよっと救われている。(T.松本)

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員；山木重樹、小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、佐々木弘美、嶋 宏之